

14 樹冠への物理的刺激による コンテナ苗の徒長の抑制



WebA°-ジ°

技術のポイント

コンテナ苗は、早く大きく育てるために十分な施肥や灌水の下で育苗されがちですが、しばしば伸長しすぎて徒長気味の形態になることが問題となっています。本研究では、育苗中にコンテナ苗の樹冠を撫でることで伸長成長の抑制が可能であること、また、樹冠を撫でることは苗の植栽後の成長にほとんど影響しないことが分かりました。

連携・橋渡しの方向

苗木生産者の方々に向け、山林用針葉樹などの苗のサイズを規格内に調整し、徒長による残苗を減らすための支援となります。このことは育苗コストの削減や効率的な苗木生産に貢献します。

詳細情報

- ・処理の詳しい方法や注意点については下記の論文をご覧ください。
- ・研究成果：
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/research/saizensen/2024/20240722.html>
- ・論文等：森林応用研究，32，15-23（2024）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/applfor/32/2/32_15/_article/-char/ja

担当者

関西支所・小笠真由美

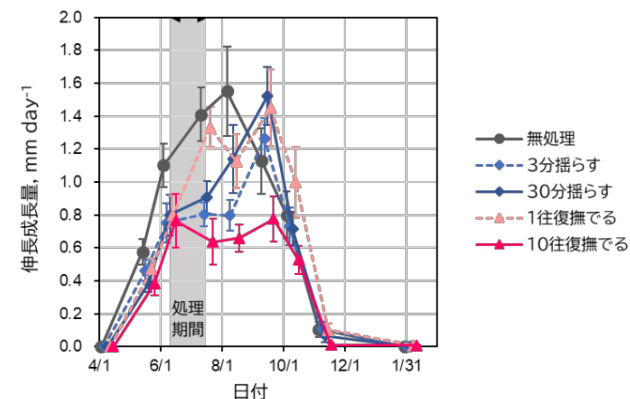


図1 育苗中における各処理区のスギコンテナ苗の伸長成長量の推移

各処理は6月初旬から約1ヶ月間、週2、3回の頻度で行いました。樹冠を10往復撫でた苗では成長期を通して伸長成長が抑制されました。



図2 1成長期後(11月)の苗の様子

試験では、樹冠を10往復撫でることで樹高が15%低下しました。

■ 謝辞

本研究は、農林水産省による戦略的プロジェクト研究推進事業「成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発(18064868)」により実施しました。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>